
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 127 号(2023.7.21)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第127号をお届けします。

――第 127 号の目次――

1. 活動組織の活動紹介

☆宮古島市城辺地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会（沖縄県宮古島市城辺）☆

城辺地域全集落の 24 集落、4,500 人余りの規模で、地域を超えて助け合いながら活動しています！

☆森岡田人の会（和歌山県御坊市）☆

遊休農地を活用したひまわり迷路やコスモス迷路を作り、地域内外の人々と交流を深めています！

☆遠軽町環境保全広域協定（北海道遠軽町）☆

地域のボランティア団体や子供会と連携し、特定外来種であるウチダザリガニを駆除した後、ウチダザリガニを調理して食しています！

2. 代表者等へのインタビュー

☆小田川地域農村資源・環境保全推進委員会（山梨県韮崎市）☆

令和 4 年度関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰の最優秀賞受賞組織に、活動内容、活動組織の代表者がこころがけていること、他の活動組織のリーダーへ伝えたいことなどを聞きました！

3. 活動組織の広報誌紹介

☆おおしの緑地会（千葉県佐倉市）☆

ロゴマークを作成することにより、地域の結集のシンボルとなるなどの工夫をしています！

4. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第 10 回選定）を募集しています！

5. 食料・農業・農村基本法の検証・見直しに関する御意見・御要望の募集について

6. 令和 5 年度 8～10 月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！

【お知らせ】 活動中の事故に注意！

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介（1） ～^{みやこしま}宮古島市^{ぐすくべ}城辺 地域農地・水・環境保全管理協定運営

委員会（^{みやこしま}沖縄県^{ぐすくべ}宮古島市城辺）～ ■

～ 地区概要 ～

当地域は、沖縄本島から南西約 300 キロメートルに位置し 24 集落からなる平地農業地域です。

平成 19 年度から農地・水・環境保全対策の活動を 13 集落で開始し、平成 24 年度から 19 集落で、平成 26 年度の「多面的機能支払交付金」への制度改正時からは、城辺地域全集落の 24 集落で活動しています。

○主な農作物として、サトウキビ、葉タバコ、ゴーヤー、マンゴー、メロン、肉用牛を生産しています。日本初の地下ダムが整備される前は、雨量の少ない時は基幹作物のさとうきびが枯れるなど農業に大きな打撃を被っていました。現在は地下ダムの整備が進み、各ほ場に灌漑排水施設が網羅されており、干ばつの被害を最小限に押さえられています。

取組面積	畑	2,410.1ha	草地	349.9ha
	農道	203.0km	排水路	17.8km

～ 主な取組 ～

○農地維持活動では、農道の草刈り、側溝や浸透池の泥上げ・雑木雑草の伐採除去等を、他地域に居住している城辺地域出身の非農業者にも呼びかけて取り組んでいます。

○台風や大雨等警報級の天候により畑の表土が流出することが多いため、側溝や浸透池の泥上げ、倒伏した雑木等の除去作業の活動を行っています。

○各地域とも若者の都市部への流出や高齢化等による地域の担い手不足・労働力の減少が生じており、地域資源の維持保全活動が課題となっています。平成 30 年度の共同活動参加人数は延べ 6,800 人余りでしたが、令和 3 年度は新型コロナの影響もあり 4,500 人余りと減少しています。



ひがしへんなざき
東平安名崎



路肩法面の草刈



浸透池の泥上げ



側溝の泥上げ



台風通過後、農道泥上げ

○これからも地域の課題に向き合い、地域資源の保全に係る共同活動への支援を継続するため、必要に応じて他地域への呼びかけを行い、地域を超えて、相互に支え合えるよう進めていきたいと考えています。

【宮古島市城辺地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会】



編集担当 SDGs コメント

農道の草刈り、側溝や浸透池の泥上げ・雑木雑草の伐採除去を行うことは、目標2（持続可能な農業生産を支える。）に貢献しています。また、地域を超えて、農地維持活動を行っていることは、目標17（地域協働の力により目標を達成する）に貢献しています。地域を超えて活動されていることは、人手の確保に苦勞している地域の参考になる素晴らしい取組ですね！これからも周辺の地域と助け合いながら地域資源の保全を進めていくことを応援しています！



■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～^{もりおか た ど}森岡田人の会(和歌山県^{ごほう}御坊市)～ ■

～ 地区概要 ～

当地区は和歌山県のほぼ中央に位置する御坊市の中央を流れる日高川の河南地区に位置し、花卉、野菜、稲作を中心とした農村地域です。花卉や野菜は専業農家が中心となって施設栽培を営んでおり、稲作の大半は兼業農家が中心となっています。

活動範囲は、田 23.1ha、畑 4.1ha、水路 6.2km、農道 3.5km、ため池5カ所です。

～ 主な取組 ～

- ◎ 当地区では、非農家の割合が多くなってきていることから、非農家の方にも農地や農業用施設が地域の暮らしと密接なつながりがあることを啓発しており、地域住民がひとつになって保全活動に取り組んでいます。取組の一環として、遊休農地を活用したひまわり迷路やコスモス迷路を作り、地元住民や様々な地域の方々との交流を深める活動を行っています。
- ◎ 地域の子供たちに、農村環境に興味を持ってもらうために、農作業体験や生き物調査などを行っています。農作業体験では機械を使った田植えや稲刈りを体験してもらい、現代の農業に関心を持ってもらう取組も行っています。生き物調査では、地域の子供達に水路や農地周辺で魚や昆虫を捕まえてもらい、楽しみながら農村の生態系に親しむ機会を設けています。
- ◎ 今後も、地域にある豊かな自然環境を活用し、地域住民がひとつになって環境保全活動を実践し、豊かな自然環境を守りつつ活力のある農村集落を目指し活動を行っていきたいと思います。

【森岡田人の会 代表 前出 勇】



賑わうひまわり迷路



満開のコスモス迷路



生き物調査の様子



機械を使った農作業体験

編集担当 SDGs コメント

小学生に農業体験や生き物調査に参加してもらうことは、目標4（地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。）に貢献しています。ひまわりやコスモスで美しい景色が広がりそうですね！これからも地域一体となって活力のある農村集落を目指して活動されることを応援しています！

■ 1. 活動組織の活動紹介(3)～^{えんがるちょう}遠軽町 環境保全広域協定（北海道 ^{えんがるちょう}遠軽町）～■

～地区概要～

北海道の北東部、オホーツク管内のほぼ中央に位置する遠軽町を拠点に活動。活動範囲は、畑 3,078ha、草地 2,951ha、農道 134.8km、水路 74.0km。

～主な取組～

◎ 本組織は、排水路の草刈りや泥あげを重点的に実施するほか、農村環境保全活動にも力を入れており、平成 27 年度から本交付金を活用して共同活動を行っています。

◎ 農村環境保全活動として、町民ボランティア団体である「ジオ・ザリ・クラブ」や地域の子供会と連携し、特定外来種であるウチダザリガニの駆除を実施しています。この活動を通して子供達は生態系を学ぶほか、駆除したウチダザリガニを調理して食することで、保全活動を超えた新たな発見に繋がる活動となっています。

◎ また、急激な融雪による排水路の氾濫等を防止するため、雪解け時期に農地全面へ融雪材を散布するなど、北海道が独自で定めている活動も実施しています。

◎ 活動を行うにあたっては、地域の過疎化・高齢化の進行と経営規模の拡大により、地域資源を保全する担い手の不足に苦労していますが、外部委託を行うなどし、農家の負担軽減を図っています。

今後は、地域と協力して、ふるさとの維持・発展に向けた意識の醸成とコミュニティの強化及び地域ブランドの創設に取り組んでいきたいです。

【遠軽町環境保全広域協定】



排水路の草刈り



ウチダザリガニの駆除



ウチダザリガニを食べる様子



融雪材の散布

編集担当 SDGs コメント

外来種であるウチダザリガニの駆除を行うことは、目標 15（地域における生物多様性を保全する。）に貢献しています。駆除したウチダザリガニを食べるのですね！どんな味がするのか気になります！これから地域ブランドの創設など新たな活動に取り組むことを応援しています！



■ 2. 代表者等へのインタビュー

～^{こたがわ}小田川^{にうさき}地域農村資源・環境保全推進委員会(山梨県^{にうさき}韮崎市)～■

組織の概要

韮崎市の北部に位置し、塩川に沿って広がる田園地帯で、農地、農道、水路の保安全管理に取り組んでいる組織です。

本地域は、県内有数のホタルの里といわれる昔ながらの農村風景が残り、その自然の保全とあわせて、ホタル鑑賞会や都内企業の農業研修を誘致するなど積極的に都市農村交流も図っています。また、Facebook や YouTube を活用し積極的に情報発信をしています。

(<https://www.facebook.com/kotagawahotaru/>)

活動範囲は田 17.5ha。対象施設は水路 4.0km、農道 2.0km。平成 20 年度から共同活動に取り組んでいます。

※当該組織は令和 4 年度関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰 最優秀賞受賞組織です。

(<https://www.maff.go.jp/kanto/nouson/nouchi/2003116.html>)

～ インタビュー ～

Q：どのような活動をしているか教えてください。

A：「子供達にホタルを見せたい」といった思いからはじまったホタルの保全活動や、地域の伝統文化を守るため、独自に工夫された麦穂から作るホタルかごや土俵の俵作りを実施しています。

ホタルの鑑賞時期には、「小田川ホタル祭り」を開催し、地域も一緒になって食材の販売や地域の PR を行うとともに、都内企業の農業体験研修を誘致するなど、都市農村交流を図っており、これらは農家民宿などの新たな起業にもつながっています。

また、地域資源の保全を地域自ら取り組むことを決めて、水路や農道の補修・更新について全て直営での施工を実施しています。

Q：特に力をいれている活動はなんですか。

A：ホタルの繁殖活動です。昭和 61 年から、ホタルの餌となるカワニナの保護と、ホタルの養殖を行っています。



役員のみなさん

会長 篠原氏(中央右)

事務局 古屋氏(中央左)

相談役 斉藤氏(左)

相談役 遠藤氏(右)



乱舞するホタルと独自に開発した飼育装置

6月のホタルの飛翔時期に雄雌の捕獲をし、水槽で産卵させます。11月頃までに2～3cmの幼虫に育て、11月ごろ、地域の子どもたちを集めて、川に放流をしています。特に最近、夏場非常に暑い日が続き、以前のように幼虫が育たないこともあり、苦労しています。

Q：代表としてこころがけていることはありますか。

A：活動の円滑な実施のため、定期的に役員会を開催し、意見集約を行い、年次計画通り活動を進めていくことです。

Q：組織を運営する中で苦労したことはありますか。

A：農家の高齢化や非農家の増加もあり、活動にかかる作業の人員確保と作業ごとの資金配分には、正直頭を抱えています。

Q：他の活動組織のリーダーへ伝えたいことはありますか。

A：当組織は、水路の修繕や農道の舗装など、すべて直営施工で実施しています。

地域の伝統・文化・技術や農村地域の景観を次世代に引き継いでいきたいと考えており、組織内や他地域と合同で技術研修会を開催しています。今後も技術の伝承を図っていききたい。



直営施工による水路の補修



技術の伝承のための技術研修

【小田川地域農村資源・環境保全推進委員会】

編集担当 SDGs コメント

直営施工で水路の修繕や農道の舗装を行うことは、目標9（災害に強いインフラ作りとそのための技術の開発に貢献する。）に貢献しています。また、組織内や他地域と合同で技術研修会を開催することは、目標16（多様な主体の参画による地域づくりを推進する。）に貢献しています。ホタルの鑑賞時期には地域がとてにぎやかになりそうですね！地域の伝統・文化・技術や農村地域の景観を次世代に引き継ぐことを応援しています！



■3. 活動組織の広報誌紹介 ～おおしの緑地会(千葉県 ^{さくら} 佐倉市)～■

広報誌の概要

- ◇ 年1回、年度初めに全戸へ紙媒体で「おおしの便り」を配布しています。
 - ◇ 活動状況の報告や、イベント開催の告知など積極的に情報発信し、地域の皆様にも喜ばれ、地域に根付いた広報誌となっています。
- 特に近年では新型コロナウィルス対策もあり、集まる機会が減っている中、貴重な情報発信の場となっています。

～工夫しているポイント～

- ポイント1：文字を大きく簡潔に1枚で収まる内容にしている。
- ポイント2：定期的な配布とは別にイベントがあれば号外版を作成している。
- ポイント3：活動のシンボルとしてロゴマークを作成している。

ポイント1 文字を大きく簡潔に1枚で収まる内容にしている。

新型コロナウィルス対策のため集まる機会が減っている中、活動結果や次年度の予定を簡潔に1枚にまとめ、イラストを使うなど、読む人によりやすくしています。



新型コロナウイルス感染拡大が治まりません。今後とも正しく予防し、皆で乗り越えましょう！

新しい生活様式を实践しよう
感染防止の3つの基本

①離れて ②マスクと ③手洗い

ソーシャル ディスタンス

1. 令和2年度の主な活動結果

コロナ禍の中、例年とは違った一年になりました。

(1)共同活動で農道の草刈り実施 (8/23, 10/25)
各29名、25名の参加中、マスクで集合・ミーティング後、全ての農道をきれいに仕上げました。

(2)共同活動で植栽活動実施
密になるため、共同作業は自粛しました。

(3)軽微な補修活動で施設管理に積極対応
老朽化しつつある用水路や取水口など、安全で確実な水利施設となるように各種補修を実施。

(4)コロナ禍の中での独自の活動は・・・

①「おおしの耕作委員会」の定例実施
緊急事態宣言時は中止にしましたが、コロナ禍対応の補助金情報や生育情報等を皆で共有でき、有意義な交流会となりました。

②コロナ禍での中止イベント
市主催の「アグリフェスタ」は中止、当地区の「ワイワイ感謝祭」も残念ながら中止となりました。

③コロナ禍ならではの活動やおすそ分け活動実施
年末に感染予防セットを全戸配布。更に生活困窮者の支援の為に「おすそ分け活動」を今年も実施し、窓口の社協にも感謝され、今年も「佐倉よみうり」に掲載されました。

④「クリーン活動(春の水田作業の前)」
子供1名含む、参加協力は50名で過去最高でした。感謝一杯です。

第12号
令和 3年
4月28日
発行:書記



2. 通常総会の実施

コロナ禍での総会の開催方法を役員会で検討し、市の担当課と相談した結果、本来の全員参加の方法では無理があるので、出席者を絞る為に、各組合代表や他の役員などが出席し、この方法に賛同いただいた方から委任状を頂く形で開催しました。

会議は、新型コロナウィルスへの感染予防をしっかりと行い、おる3月28日に、53名(委任状:39名含む)で開催され、議案の審議事項が全て承認されました。会議後、会議資料及び議事録を配布して報告としました。いよいよ3年度の始まりです。

3. 本年度の主な活動予定

本年度の主な活動予定は以下です。
本年度も、皆さんの一層のご協力をお願い致します。

(1)共同活動で農道草刈り
みんなで地域の資源を維持しましょう。
予定・・・①8/22, ②10月(検討)

(2)共同活動で植栽活動
コロナ禍の状況により検討します。
実施の際は、皆さんのご協力をお願いします。

(3)農家施設の補修活動で施設の維持充実
水利施設の改修や補修活動に加え、広瀬機場の送水管新設等の大工事(長寿化活動)も計画します。

(4)独自の活動の実施について

- ①「おおしの耕作委員会」の定例実施
- ②「佐倉アグリフェスタ」開催時には積極参加
- ③「ワイワイ感謝祭」・・・コロナ禍状況による
- ④「おすそ分け活動」や「災害対応避難所」も
- ⑤「クリーン活動」(農免道路・川土手等のゴミ拾い)

■編集後記:新型コロナ禍の一年でしたが、まだまだ収束困難の模様です。感染予防を心掛けながら、それでもできる活動を通して、心地よい自慢の地域にしましょう。(書記)

ポイント2 定期的な配布とは別にイベントがあれば号外版を作成している。

イベントを開催した際には、タイムリーに号外版を作成しています。
写真を多数使用し、より沢山の地域の方に気軽に活動に参加してもらえるように工夫しています。

第10号 令和元年 12月28日 発行：書記

皆さんのご協力で大盛会「2019 おおしのワイワイ感謝祭」、同時開催「おすそ分け活動の寄付品収集」にも協力に感謝

本年は、台風16号や19号に加え豪雨の被害を受け、皆様の協力や消防団活動等で乗り越えてきました。中でも豪雨により水田の殆どが浸水した結果、残された漂着ゴミを、42名もの多くの方の参加で一枚一枚の田んぼの中まできれいにしていただきました。ご協力に感謝一杯です。

このような活動へのご協力に感謝を込め、昨年好評だった「ワイワイ感謝祭」を、今年も開催する事にしました。多くの実行委員の方のご協力と準備を整え、当日の發行に万全を期してテント設営もしました。

新たな企画として、今年は本格和太鼓の「清丸太鼓」様に出演していただき、迫力に魅了され、大いに騒わった一日になりました。もちろん、皆様のご協力で、事故や怪我等がなかったことも感謝です。

今年も「おもてなし」をテーマに、飲んで食べて遊んで笑顔で語り合えた一日を幾つかの写真でご紹介します。

■ 2019 ワイワイ感謝祭のまとめ

(1)開催 12月22日11時～ 協同館前広場、開催者：実行委員会、主催：おおしの緑地会、協賛：各団体
(2)来場者 地区内：17名、地区外：39名 合計：116名(昨年…合計：102名、地区外：30名)
(3)取材 「佐倉よみうり」編集長が来られました。地方紙です。1月24日付に掲載予定です。ご期待を！

■写真による感謝祭ダイジェスト

会場準備、受付、焼き鳥、おにぎり、ドリンクコーナー、清丸太鼓様大熱演！！、親子共演、大好評の豚汁調理、紋鼓風景、集合写真、キッズルーム、サンタのビンゴ大会

「おすそ分け活動」の寄付品は、翌日、社会福祉協議会に届けました。窓口の皆さんは大層運の皆さんの心を絶賛！

■編集後記 新たな更新年度が始まり、さらに皆さんの参加する活動で盛り上げたいと思いますので、これからの活動にも、一人でも多くの方のご参加を願い、地域を思う活動を発信してまいります。

今後とも、よろしくお願いし、年末のご挨拶とします。良いお年を(書記)

ポイント3 活動のシンボルとしてロゴマークを作成している。

ロゴマークを作成することにより、地域の結集のシンボルとなっており、地域のふるさと愛が深まっています。

第8号 平成30年 12月27日 発行：書記

慌ただしい中でも初開催、大成功「2018 ワイワイ感謝祭」

私達の日頃の活動が「日本農業新聞」に立派に掲載されたのは、日頃の皆様の協力のおかげ物と思ひ、感謝の喜びをみんなで味わえるイベントを行おうと、新聞掲載後、急ぎよ、有志で実行委員会を立ち上げ、年内に実施しようと準備してきました。

初めての事で、短期間の準備と案内でしたが、他の地区からのお客様(30名)も合わせて100名を超える賑わいになりました。

「おもてなし」をテーマに、飲んで食べて遊んで笑顔で語り合えた一日を、幾つかの写真でご紹介します。

■ 2018 ワイワイ感謝祭のまとめ

(1)開催 12月23日11時～ 協同館前広場、開催者：実行委員会、主催：おおしの緑地会、協賛：各団体
(2)来場者 地区内：72名、地区外：30名 合計：102名(皆様の呼びかけが多くのお客様になりました)
(3)取材 「佐倉よみうり」編集長が来られました。地方紙です。とうご期待



■4.「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」(第10回選定)を募集しています!■

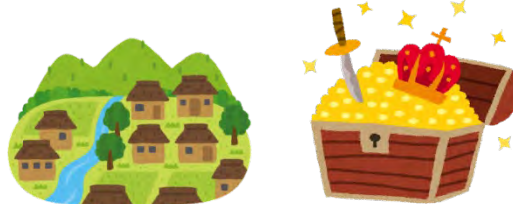
農林水産省では、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」と称し、美しく伝統ある農山漁村を次世代へ継承する取組など、地域において、新たな需要の発掘・創造や潜在している地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる取組を幅広く募集しています。

また、第10回となる今年は、過去に選定された優良事例の中から、選定後に著しい発展性がみられ、全国の模範となる取組も募集します。

(募集期間：6月16日(金)～8月27日(日))

ご応募頂いた中から特に優れた取組については選定証の授与や、特設 Web サイトへの掲載、交流会の開催などを通じて全国に広く発信していきます。

キラリと光り輝く可能性の宝庫である、あなたと、あなたのふるさとの底力をを見せてください! ご応募、お待ちしております!



多面的機能支払交付金の活動組織も特別賞を受賞されています!

令和4年度「第9回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」において、
熊本県熊本市の活動組織である「天明環境保全隊」が特別賞を受賞しました!
子ども達に地元の魅力・歴史を伝えるため、小中学校への出前講座や田んぼの学校の開催、生き物調査を実施するほか、しめ縄作りなどの伝統文化を普及したことが、持続可能な取組である点で評価されました!

[jirei_sentei_9_low.pdf \(discovermuranotakara.com\)](https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/230616.html) ←こちらの41ページに掲載されています。

※「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の地域資源を活用した、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

詳しくはこちらをご覧ください。

プレスリリース

⇒<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/230616.html>

第10回選定応募ページ(特設 Web サイト)

⇒<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>

総理官邸で行われた交流会の様子(令和4年12月)

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202212/19mura.html

【農林水産省農村振興局農村政策部都市農村交流課】

■5. 食料・農業・農村基本法の検証・見直しに関する御意見・御要望の募集について ■

令和5年5月29日（月）に開催された食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会において、食料・農業・農村基本法の検証・見直しに関する中間取りまとめが示されました。今般、食料・農業・農村基本法の検証・見直しに当たり、国民の皆様から御意見・御要望を募集しています。

（募集期間：6月23日(金)～7月22日(土)17時00分まで（必着））

詳細はこちらをご覧ください。[食料・農業・農村基本法の検証・見直しに関する御意見・御要望の募集について：農林水産省（maff.go.jp）](https://maff.go.jp)

■6. 令和5年度 8～10月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！ ■

多面的機能支払交付金の情報発信として、本交付金に関する各地のイベントの日程などをまとめたイベントカレンダーを作成しました。より本交付金を学びたい方や他組織の活動の様子を参考にさせていただくなど、多くの方に活用していただきたいです！本メルマガ掲載時より、イベントの情報が更新される可能性があるため、詳細は問い合わせ先までご確認ください。

月	日	曜	都道府県	イベント名（主催者）	備考	問い合わせ先
8月	9日	水	山形県	令和5年度多面的機能支払交付金に係る研修会（山形県推進協議会）	協議会のホームページに掲載中	
	30日	水	鹿児島県	令和5年度鹿児島県水土里サークル活動シンポジウム（鹿児島県水土里サークル活動支援協議会）	協議会HPに掲載予定	問合せ先 事務局（099-223-6135）
	31日	木	山形県	令和5年度多面的機能支払交付金に係る返還事務研修会（山形県推進協議会）	市町村担当者（初任者向け）web研修会	
9月	5日	火	兵庫県	豊かなふるさとづくり推進委員会（優良事例発表会）（兵庫県）		問合せ先 078-362-3431
10月	13日～27日	金～金	宮城県	宮城県図書館におけるパネル展示（宮城県）		問合せ先 nariwai-ko@pref.miyagi.lg.jp
	25日	水	福井県	多面的機能支払交付金を活用した農村環境づくりセミナー（福井県多面的機能発揮推進協議会）		
	30日	月	熊本県	九州「農地・水・環境保全」フォーラムIN熊本（九州各県多面的機能支払推進協議会）		事務局：熊本県多面的機能支払推進協議会（096-348-8802）

■【お知らせ】活動中の事故に注意！■

農繁期に入り、本交付金による共同活動が活発になるにつれて、活動中の事故報告が寄せられております。

引き続き、草刈機との接触による事故の報告が来ておりますので、周囲に人がいないことを確認し、適宜、声かけを行いつつ、十分注意して作業を行うようにしましょう。

また、田んぼの法面や水路の周りなど、足場の不安定な場所での転落・転倒事故も散見されております。主な要因は、「事前に行う危険箇所の確認やその周知が不十分」、「雨上がりで地面がぬかるんだり、滑りやすくなっていたことへの注意不足」でありましたので、こうした点に留意しましょう。

これからの季節は気温、湿度が高くなりますので、熱中症には十分注意して、活動を行いましょう。

活動組織では、「共同活動の安全のしおり」のチェックリスト等を活用して、安全管理の徹底を図り、作業時の事故防止に努めましょう。



☆作業のポイント

雨上がりで地面がぬかるんだり、滑りやすくなっている箇所には十分注意して、活動を行いましょう！



☆作業のポイント

熱中症を予防するために、日陰を確保し、こまめに水分補給や休憩をとりましょう！

◇「共同活動の安全のしおり」◇

「共同活動の安全のしおり」のダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-86.pdf

■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。先日、私は研修で福岡県田川市を訪問しました。田川市は、昔は「石炭」の産出地として発展してきましたが、エネルギー革命により、石炭産業が衰退しました。石炭産業に代わる基幹産業の構築の一環として、田川市が開設したパプリカ栽培研修施設で、パプリカの収穫作業などをお手伝いさせていただきました。パプリカの栽培の難しさを感じるとともに、田川市の歴史を深く知ることができ、貴重な時間を過ごさせていただきました。

いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。暑い日が増えてまいりましたが、皆様どうぞご自愛ください。



◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：細川、渡邊）

TEL：03-3502-8111（内線 5493）